

大阪フットサルリーグ 2017 『 運営委員について 』

[1部]

- 1) 1部リーグ運営委員会より運営委員を派遣しなければならない。
- 2) 各チームは、事前に競技運営責任者1名、副責任者1名を選出しなければならない。
- 3) 各試合で派遣する運営委員は、本部役員2名、タイムキーパー1名、記録員1名、ボールパーソン4名の最低8名で、協力してリーグの運営を行う。
- 4) 第3審判とタイムキーパーは、審判服もしくは、ジャージを着用すること。試合毎に他のものと交代しても良いが原則試合途中での交代は認めない。また、必ず有資格者が行わなければならない、審判を行う時は必ず審判員証を携帯し、提示を求められた時には提示すること（電子登録証も可）。
- 5) 記録員は本連盟の用意するビブスを着用する。公式記録用紙に名前を記載する記録員は、試合が終了するまで交代することはできない。
- 6) ボールパーソンはジャージなどの運動し易い服装で本連盟の用意するビブスを着用し、試合中の両チームのユニフォームと色彩が重ならないようにする。試合毎に他のものと交代しても良い。
- 7) 本部役員は、本協会の用意するビブスを着用し、2人で協力して、主に以下の職務を行う。
 1. 会場設営から撤収までをマッチコミッショナーの補佐として統括し、リーグが予定通り順調に進行するように運営を管理する。なお、不測の事態や判断が困難な状況が生じたときは、マッチコミッショナーに相談し対処する。
 2. ピッチが設置されたあとに第1試合の審判と共にピッチの確認をし、不備があれば修正する。
 3. MCMにおいて、司会進行をする。
 4. チームより出された試合球を確認する（主審に確認のうえ、空気圧を0.7hPaに調整する）。
 5. チームより提出されたメンバー表に、不備がないかチェックする。
 6. ベンチに入ることを希望したチームオフィシャルに関して登録を確認し、ADカードを渡す（試合開始30分前まで）。
 7. 試合の公式記録用紙を作成し、試合毎の公式記録を管理し、入力する。
 8. 試合開始予定時刻に試合が始まるために、その必要があれば審判と協力しチームに促す。
 9. 試合終了後、試合記録を確認し、署名など不備がないかを確認する。
 10. 試合中、前後半に最低1度ずつ、飲水場所も含めて会場を見回る。
 11. 他の運営委員の行動を監督する。
- 8) 運営用具担当チームは記録書類等を持ち帰り、次節8時45分までに運営本部に持って来る。

[2部、3部]

- 1) 別紙スケジュール表に従い、運営委員を派遣しなければならない。

午前担当の場合は8時45分までに会場入りし、11時以降から開催の場合は、試合開始の1時間前までに会場入りすること。

2部リーグ、3部Aリーグで、2チーム前後半で運営を担当する場合は、予定表の左側を前半（8:45～第4試合開始15分後）、右側を後半（第4試合開始～終了後撤収完了まで）とする。

4試合開催の2部リーグは、予定表の左側を前半（8:45～第3試合開始15分後まで）、右側を後半（第3試合開始～終了後撤収完了まで）の担当とする。

3部Bリーグは8時45分から終了後撤収完了まで終日運営を担当する。
- 2) チームが派遣する運営委員は最低2名で、他の者と交代する場合は、チームの責任のもと、確実に引継ぎをすること。運営委員は、本連盟が用意するビブスを着用し、主に上記1部の7)にある、2～11. で記されている職務を行う。
- 3) 運営用具管理チームはビブスや記録書類等を持ち帰り、次節8時45分（11時以降から開催の場合は、試合開始の1時間前）までに運営本部に持って来る。